

第3版の序

臨床栄養学は、傷病者・要介護者の栄養指導をその業とする管理栄養士の育成に重要な学問である。臨床栄養学を学ぶには、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の専門基礎科目群を履修し、さらに、臨床医学を履修し、疾病の原因、病態生理、症状、診断、治療法を学び、理解している必要がある。つまり、臨床栄養学は人体の構造と機能及び疾病の成り立ちを理解し、疾病に対して栄養学的にどのように対応するのかを明らかにする学問である。したがって、臨床栄養学の実践となる栄養食事療法、あるいは栄養食事療法への栄養指導には、食品学、栄養学、調理学、給食経営管理論の知識を疾病への治療と関連づけて理解することが望まれる。

『栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学』は、厚生労働省による「管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）」をもとに、「基礎編」と「疾患別編」の2編により臨床栄養学の内容を網羅した。『第3版』では、2019年改定のガイドラインに沿った章立てへと全面的に変更を加えた。

本書（疾患別編）では、疾患ごとの栄養管理に沿って項目を構成した。「臨床医学の復習」では、疾患の原因、症状、診断、治療、治療の指標を要約し、解説した。次に臨床栄養学の根幹となる「栄養食事療法」では、栄養評価、栄養基準、栄養補給を各疾患に関連した医学会による最新のガイドラインに整合して解説した。

また、姉妹版の基礎編では、管理栄養士の臨床現場での活動の流れに沿って項目を構成した。これにより、臨床のイメージトレーニングが叶い、学習への意欲が高まることを期待したい。また、臨地校外実習の事前学習として活用し、実践学としての臨床栄養学への理解を容易にする。

そして、栄養科学イラストレイテッドシリーズの他科目と同様に、各章の冒頭には「Point」を呈示し、何を学ぶべきかの目標を明確にした。また、章末には「チェック問題」により学びを振り返る構成を配し、学習法を意図して本書に織り込んだ。改訂にあたり記載内容のアップデートや新項目の加筆を行い、実臨床においても役立てることを狙った。さまざまな疾患を同一の項目で解説するための執筆には苦慮し、かつ、工夫が図られた。幸いにも、本書の執筆は、臨床栄養を現場で実践し、専門性を高めて活躍している管理栄養士の諸先生、あるいは管理栄養士養成校にて「臨床栄養学」の教育・研究にかかわり、当該疾患を専門の研究領域とする諸先生である。

本書で解説した内容を理解し、臨床栄養学に興味をもち、医学ならびに栄養学の日進月歩に感動し、臨床栄養学の知識や理論を実践されることを願っている。

2022年10月

本田佳子
曾根博仁